

「緑の育成と樹木保護保存セミナー2017」を開催！

11月4日(土)に、25回目となる「緑の育成と樹木保護保存セミナー2017」を高山市中山町「飛騨高山ビッグアリーナ」及び中山公園において、岐阜県緑の博士(グリーンドクター)協議会との共催により「緑の博士に学ぶダイバーシティワールド」をテーマに開催し、申込のあった一般市民など37名の方や高山市の職員の皆さんに参加していただきました。

当日は、午前中は冷たい雨模様でしたが、午後からは雨も小止みになり、次の内容で予定どおり実施することが出来ました。

また、セミナーの開催にあたり、國島高山市長様にご挨拶いただき、高山市の進める多様性に富んだまちづくりとともに、緑の育成への期待もいただきました。



<セミナー内容>

(午前の部)

1 講義

①演題:多様性って?「緑と人とまちの多様性」

講師:松井 良一氏(株門造園土木 代表取締役 グリーンドクターA級)

②演題:木を知ろう「いきものの関わりから見た苗木づくり、森づくり」

講師:吉野 知明氏(エスペックミック(株)自然環境創造事業部 主任研究員)

(午後の部)

2 植樹活動

高山市で行う「いのちの森づくり事業」に参加し、中山公園内の森林において、13種類の広葉樹300本を植栽しました。

今回のセミナーは、岐阜県緑の博士(グリーンドクター)協議飛騨ブロックが担当し、午前中の講義では、ダイバーシティ(生物多様性)をテーマに、マクロ、ミクロの視点から森林や町中の緑を見つめることや植生や種子の拡散に着目した苗木づくりや森づくりの展開を学びました。

午後からは、現地において、吉野知明氏の指導やグリーンドクターの皆様のサポートにより、約100平方メートルの範囲に13種類の広葉樹300本を宮脇昭氏の方式で植栽しました。具体的には、ポットの苗木を十分に水に浸した後、30cm程度の間隔で植栽し、地表面をバークチップで隙間なく覆いました。植栽後は、個体間或いは樹種間の競争により成長していき、郷土に適した樹種を選択していることから多様性に富んだ森林へと成長することが期待されます。

高山市では7年前から「いのちの森づくり事業」を展開し、多様性に富んだ森づくりや街づくりに取り組まれています。今回の箇所近接した昨年度の植栽地も見学しましたが、苗木の活着は良好で、今後の成長が期待されました。

